

ただいま議題となりました平成21年度高崎市一般会計予算、各特別会計予算、並びに関係諸議案のご審議をいただくにあたり、市政運営について、所信の一端と予算の概要についてご説明を申し上げ、議員の皆様をはじめ市民の皆様に、格別のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

わが国は、昨年来の世界的な金融危機や原油の高騰、また為替市場の変動による影響から、企業業績が急激に悪化し、雇用問題へ波及するなど、100年に一度といわれる経済危機に見舞われております。この経済危機に対して国や県ではさまざまな景気対策を講じており、本市といたしましても、市民生活への影響を考慮し、中小企業への支援対策として融資条件の緩和などの措置を講じてきたところでございます。

今後、世界的な景気の低迷は続くものと見込まれ、先行きが大変心配されるところですが、経済の動向には十分注意を払いながら適切な対策を講じてまいり所存でございます。

このような厳しい経済状況の中、本市は、平成20年度から「交流と創造～輝く高崎」を将来都市像に掲げた「第5次総合計画」をスタートさせ、平成23年4月1日の中核市移行も見据えながら、新しい高崎市の都市づくりの第一歩を踏み出したところでございます。

この総合計画は、まちづくりの目標の実現に向けて、市民の皆様と共に定めた行動指針でありますので、計画の着実な推進が図れるよう、平成21年度では、国立病院機構高崎病院内に併設す

るメディカルサポートセンターや医療保健センター（仮称）と新図書館の一体的な整備のほか、スマートインターチェンジや群馬地域運動広場（仮称）などの整備を盛り込んだところでございます。

また、今年6月1日には吉井町との合併を予定しております。吉井町が加わることで新しい力と魅力が備わり、群馬県を代表する都市として、さらには、北関東・北信越地域の中でも大きな存在感がある都市として一層の発展が期待され、本市の都市づくりに弾みがつくものと考えております。

高崎市は、古い歴史を持つまちですが、いつの時代も市民がまちづくりの中心的な役割を担い発展を続けてきました。平成21年度においても「安心・安全」を最重点として、市民が主体となった「高崎らしい、高崎ならではの」のまちづくりを継承し、高崎の「都市と市民の力」を最大限に発揮して、豊かな市民生活の実現と「輝く高崎」を目指して全力で取り組んでいく所存でございますので、皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

[国の予算と地方財政計画]

さて、わが国の経済は、世界的な景気の後退が続く中で、内需、外需共に厳しい状況が続いており、今後も、雇用問題への拡大などから景気の下局面が長期化・深刻化する恐れが高まっております。

このような中、平成21年度における国の一般会計予算は、「基

本方針「2006」等に基づく過去2年間の歳出改革路線を堅持する一方で、雇用対策、医療対策、地域の活性化支援などに関する予算を重点化したことから、一般会計予算は、8兆8,480億円と前年度比6.6パーセント増の伸び率となっております。

この結果、厳しい経済状況から税収が大幅に落ち込む中で、国債の発行額は3兆3,000億円台となり、公債依存度も30.5パーセントから37.6パーセントになるなど、財政状況は厳しさを増しております。

また、地方公共団体の予算編成の指針となる地方財政計画につきましても、厳しい財政環境を反映し、前年度比1.0パーセント減の8兆2,600億円となっております。

[本市予算の概要]

国と地方を通じた歳出改革の中にあって、平成21年度高崎市一般会計予算は1,347億円となり、前年度に比べ1.0パーセントの増で、一般会計、特別会計、企業会計を合わせた総額は2,181億5,199万7千円となりました。

特に、一般会計予算は、新市建設（基本）計画及び第5次総合計画に基づく各種事業を実施するほか、厳しい経済状況に対処し、中小企業の円滑な資金調達を確保するため、融資枠の拡大や融資条件の緩和などの措置を講じたことにより、前年度を上回る結果となったものでございます。

予算編成にあたりましては、財政を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中で、財政の健全性を確保しながら、市民の視点に立って事業の優先度や緊急度を考慮するとともに、第5次総合計画の将来都市像である「交流と創造～輝く高崎」の建設に向けた施策や事業には、重点的に予算を配分したところでございます。

[歳入予算の概要]

それでは、歳入予算の概要について申し上げます。

財政運営の根幹をなす市税収入につきましては、前年度の収入状況や経済の動向などを見据え、前年度比3.0パーセント減の540億9,315万2千円を計上いたしました。

特に法人市民税については、企業業績の悪化が予想されることから、前年度に対して大幅な減収を見込んでおります。

また、個人市民税についても、所得が伸び悩むと見られ、ほぼ前年度と同額の187億380万8千円を計上しております。

固定資産税は、評価替えの年となり、土地は地価の下落により減少するものの、家屋は新增築などから若干増加が見込まれ、また、償却資産は、前年に一部の企業により設備投資が行われたことなどから、前年度比1.4パーセント増の241億7,675万1千円を見込んでおります。

地方譲与税のうち地方揮発油譲与税は、道路特定財源の一般財源化に伴い地方道路譲与税が変更されたもので、利子割交付金、地方消費税交付金等と共に、経済情勢や収入状況、地方財政計画等を参考に積算して計上いたしました。

地方交付税のうち普通交付税につきましては、地方財政計画及び市税の収入状況等を勘案し、5億円増の65億円を見込んでおります。

国・県支出金は、歳出事業に対応する所定の額を計上しております。

繰入金につきましては、財政調整基金から前年度より1億円減の47億円を、減債基金からは6億円を繰り入れます。

市債につきましては、臨時財政対策債を地方財政計画の伸びを考慮して、前年度比56.3パーセント増の42億5千万円で見込みましたが、公共事業の減少などにより、全体では5.1%減の133億1,760万円を計上いたしました。

[歳出予算の概要]

続きまして歳出予算の概要につきまして、新規施策や主な事業を中心に、総合計画の政策分野に沿って申し上げます。

「健康・福祉」すこやかで元気に暮らせるまち

はじめは、「健康・福祉」すこやかで元気に暮らせるまちづくりについてでございます。

少子・高齢社会が進行する中で、すべての市民が生涯にわたって心身ともに健康ではつらつとした生活をおくることができるまちづくりに取り組んでまいります。

地域福祉の一層の充実を図るため、榛名地域に福祉相談やボラ

ンティア活動の拠点となる福社会館を図書館との複合施設として建設するための実施設計を行います。

子育て支援につきましては、乳幼児等への医療費助成について、10月からは入院と同様に通院も、中学3年生まで拡大して実施いたします。

また、新たに乳幼児の罹患率や重症化の危険性の高い「おたふくかぜ」の予防接種に一部公費負担を実施するほか、妊婦健康診査の費用助成を5回から14回へと大幅に拡大いたします。

そのほか、箕郷第一保育園の改築工事及び放課後児童クラブの円滑な事業運営の支援や専用施設の建設を行うなど、安心して子どもを産み育てる環境の向上に努めてまいります。

地域医療体制の整備といたしましては、国立病院機構高崎病院の建て替えに合わせて、メディカルサポートセンターの整備を進めると共に、保健センター・保健所・休日と準夜の診療所等の機能を備えた医療保健センター（仮称）を、図書館との複合施設として整備してまいります。

高齢者対策といたしましては、給食サービスなどの在宅福祉サービスの実施や地域ケアを支える地域包括支援センターを中心とした、総合相談支援や介護予防事業を引き続き推進いたします。

長寿医療制度につきましても、制度の運営が円滑に行われるよう対応してまいります。

障害者福祉につきましては、障害のある人が所有する自動車の改造経費や普通自動車免許の取得に要する経費に対して補助制度を導入するほか、障害者自立支援法に基づいたサービスの提供などに努めてまいります。

「教育・文化」豊かな心と感性が育つまち

次は、「教育・文化」豊かな心と感性が育つまちづくりについてでございます。

人づくりがまちづくりであるという観点から、家庭、学校、地域が一体となって、心豊かでたくましい子どもを育てると共に、生涯にわたって学習活動が行える環境づくりを進めてまいります。

また、歴史や文化の薫り高い環境の整備・支援に努めるなど、豊かな感性を育むまちづくりを推進いたします。

学校教育につきましては、「21世紀の変化の激しい時代を、生涯学び続け、心豊かにたくましく生きぬく子ども」の育成を目指した教育活動の充実に努めてまいります。

各学校では、子どもたち一人ひとりが確かな学力を身につけ、「生きる力」を育めるよう、日々の教育活動の充実、改善に努め、地域に根ざした「特色ある学校づくり」を推進いたします。

特に、学校生活における集団不適應などのさまざまな問題解決のために、全小・中学校、幼稚園への「学校支援員」の配置や、適応指導教室におけるきめ細かな指導等に引き続き取り組みます。

英語教育といたしましては、外国人英語指導助手を増員し、英語コミュニケーション能力の向上と国際理解の推進に努めます。

学校危機管理につきましては、地域及び関係機関と連携を図り、児童・生徒の安全確保に努めてまいります。

学校施設整備につきましては、校舎や屋内運動場の耐震補強を推進すると共に、倉淵地域の3小学校を統合するにあたり、必要となる諸室を整備いたします。

また、食育などの観点から、榛名地域に自校方式による給食室を整備してまいります。そのほか、新町第一小学校、倉淵中学校、箕郷中学校の屋内運動場及びプール建設、中尾中学校と養護学校の校舎建設、また、高崎経済大学附属高等学校の空調設備の設置を進めるなど、教育環境の整備充実を図ります。

史跡の保存整備では、日高遺跡、山名古墳群、箕輪城跡等の保存整備を進めます。

社会教育につきましては、旧群馬中央中学校跡地に生涯学習センター（仮称）の整備を進めると共に、昭和56年以前に建設された地区公民館の耐震診断を計画的に実施してまいります。

また、下里見公民館（仮称）建設に向けた基本構想の策定を行います。

新図書館につきましては、医療保健センター（仮称）との複合施設として整備を進めるほか、新たに榛名地域図書館（仮称）を、福祉会館との複合施設として整備してまいります。

体育施設整備といたしましては、群馬地域内に野球場を含めた運動施設と公園を一体的に整備してまいります。

高崎経済大学では、学生の就職支援策として、公務員養成セミナーやキャリアコンサルティングの実施等により、教育環境の充実に努めてまいります。

芸術文化事業といたしましては、地域の特色を生かした企画文化事業を開催すると共に、市美術館とタワー美術館では、収蔵作

品展やそれぞれの特徴を生かした企画展を開催いたします。

また、新しい芸術・文化ホールの整備に向けた基礎的検討を行うなど、芸術文化の振興に努めます。

「環境・安全」安心でやすらぎのあるまち

次は、「環境・安全」安心でやすらぎのあるまちづくりについてでございます。

自然と調和した循環型社会の構築を目指すと共に、地域防災力の強化など、だれもが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

地球温暖化対策といたしまして、新たに自然エネルギーを活用した太陽光発電システムの導入経費への補助制度を創設いたします。

ごみの減量化につきましては、有価物集団回収の奨励など資源ごみの分別排出の徹底に努め、リサイクルの推進を図ると共に、学校給食残渣の堆肥化に取り組めます。

エコパーク榛名においては、埋め立て期間の延長を図るため、第二期の施設拡張整備に向け実施設計に取り組めます。

防災対策といたしましては、防火水槽の設置や消防ポンプ自動車の更新を行うと共に、各地域の防災行政無線の一体的な整備に向けた調査を行うほか、老朽化した地震体験車の更新を行い、地域防災力の向上に努めます。

また、地域安全の推進を図るため、地区公民館を地域安全活動

の拠点として活用するほか、携帯電話などのメール機能を利用し、災害や防犯、市政情報など各種情報の配信を実施してまいります。

さらに、交通安全啓発活動や道路標識、ガードレール等の安全施設の整備を推進するなど、安全に暮らせる生活環境の整備に努めます。

公園緑地事業といたしましては、観音山公園カッパピア跡地の保全活用を図ると共に、三ツ寺公園などを整備し、やすらぎのある生活空間を整備してまいります。

また、全国都市緑化ぐんまフェアのフォローアップ事業として、県と共同で、まちなか会場での緑化イベントを実施いたします。

「産業・観光」人々がつどう魅力あるまち

次は、「産業・観光」人々がつどう魅力あるまちづくりについてでございます。

商都高崎にふさわしい、にぎわいのある中心市街地の形成を図ると共に、新産業の創出や起業支援などにより、商業・工業・農林業の各産業にバランスの取れたまちづくりを進めます。

また、個性ある地域資源を活用した観光地づくりを推進し、広域から人々がつどう、魅力あるまちの実現を目指します。

世界的な景気後退の影響により、本市の経済活動も厳しい状況が続くものと見込まれます。このため、本市経済の重要な担い手である中小企業への支援といたしましては、資金繰りの円滑化を進め、経営の安定を図る目的から、融資条件の緩和等の措置を講

じてまいります。

そのほか、産業創造館を中心にした、産学官連携や新産業・新技術の創出、見本市や展示会などへの出展補助など、多方面から支援を行ってまいります。

また、企業誘致の促進や雇用の創出・拡大のための各種奨励金制度も継続して実施してまいります。

中心市街地の活性化対策といたしましては、中心市街地活性化基本計画の事業効果についてフォローアップ調査を実施し、その推進に努めると共に、中心市街地でのイベント開催や後継者対策のほか、安全で楽しく買い物ができる商業環境整備など総合的な支援を行い、商都高崎の魅力の向上に努めます。

観光振興といたしましては、観光振興計画の策定に引き続き取り組むと共に、高崎まつりをはじめ榛名湖など各地域の観光資源と特徴を生かしたお祭りやイベントを支援し、にぎわいの創出を図ります。

みさと芝桜公園では、ライトアップ工事が一部完了いたしますので、新たに夜間開園を始めると共に、平成22年度の全面ライトアップに向けて整備を進めるなど、観光資源の充実に努めてまいります。

高崎フィルム・コミッションでは、引き続き映画やテレビロケの誘致等により、全国に高崎の知名度を広げてまいります。

農業につきましては、前年度に策定した農業振興計画に基づき、集落営農組織の育成強化、地域の特性を生かした果樹生産振興や野菜産地育成、畜産振興対策等の地域農業の振興を推進いたします。

また、地産地消や農業体験による食農教育推進など、生産者と市民との協働による新たな連携を構築してまいります。

さらに、営農団地が集積するフルーツラインの整備を推進し、農作物の流通改善や生産基盤の強化と共に、観光面での振興などを図ります。

林業につきましては、森林整備計画に基づいた間伐の推進、担い手対策、林道整備等を行い、林業経営の振興を図ると共に、地球温暖化防止や水源かん養など、森林の持つ多面的・公益的機能の発揮・活用に努めるほか、有害鳥獣対策にも取り組んでまいります。

「都市・建設」便利で快適な住みよいまち

次は、「都市・建設」便利で快適な住みよいまちづくりについてでございます。

地域の特性に配慮し、都市と自然が調和した快適な住環境を備えた利便性の高いまちづくりを進めます。

都市計画事業では、スマートインターチェンジや高崎駅東口ペDESTリアンデッキの整備を引き続き行うなど、高崎駅周辺整備等を推進することにより、本市の拠点性と交通の利便性のさらなる向上を目指します。

地方道等改修事業では、広小路栄町線や問屋町南通り線などの整備を行い、安全性・利便性の向上に努めます。

土地区画整理事業につきましては、高崎操車場跡地周辺、高崎

駅西口周辺、浜尻北交差点改良を重点的に整備すると共に、その他の継続事業につきましても着実に推進してまいります。

市街地再開発事業では、高崎駅西口第四地区の再開発を継続して実施いたします。

街路事業につきましては、高前幹線、飯塚並榎線、矢中下斎田線、宿横手大沢線などの事業を継続して実施するほか、新たに下芝線を事業化いたします。

市内循環バス「ぐるりん」は、運行路線の見直しに取り組み、利便性の向上を図ります。

市営住宅の整備につきましては、地場産材を活用した山名団地建て替えと共に、新町つくし団地や倉淵ふるさと住宅の建設など住環境の整備促進を図ります。

上下水道事業につきましては、財政計画に基づいた健全な財政運営、将来世代への負担の軽減、安心・安全に配慮した予算編成に努めました。

水道事業につきましては、水需要の低迷による厳しい事業運営が続いておりますが、収納率の向上を図ると共に、経費の抑制に努め、安定した給水体制の確立を目指してまいります。

安心・安全への配慮といたしましては、石綿セメント管の更新、白川浄水場のテレメータ設備や薬品注入設備更新、中島浄水場のろ過池改修、金古浄水場の配水ポンプ設備更新、新町浄水場の配水設備及び水中ポンプ更新等を実施いたします。

また、給水車 1 台を追加配備して、非常時の断水等に対処してまいります。

下水道事業につきましては、快適で安全な生活環境の確保や河川・湖沼の水環境保全のため、引き続き各地域における下水・雨水管渠の整備を実施してまいります。

本年度は新たに、雨水対策として、高崎駅周辺中心市街地の合流式下水道処理区域の浸水対策に向けた調査検討を行います。

また、平成22年度に予定される下水道事業計画の認可変更に向けて、合併により承継した各地域の計画を見直し、新市全体の視点に立った計画策定のための調査検討を進めます。

今後とも、現行料金体系をできる限り維持できるよう、営業費用や企業債の抑制に努め、将来にわたる財政の健全化と安定した経営基盤の確立を目指してまいります。

「地域・自治」市民とつくるみんなのまち

次は、「地域・自治」市民とつくるみんなのまちづくりについてでございます。

地域の主体性が求められる分権型社会に対応し、自主自立の行財政運営を目指すと共に、市民と行政の良好なパートナーシップのもとに、市民主体のまちづくりを推進します。

地域の特性を生かし、本市のさらなる飛躍を目指した中核市移行に向け準備を進めると共に、男女共同参画社会の拠点施設である「たかさき女性フォーラム」の老朽化に伴う代替施設の整備を実施いたします。

また、納税者の利便性向上のため、市税や保険料についてコン

ビニ収納を開始いたします。

財政の安定を維持しつつ、市民サービスの向上を図っていくことは行政運営の基本であります。

様々な行政課題に迅速かつ的確に対応しながら、業務の見直し等による計画的な職員数削減を行い、簡素で効率的な行財政システムを目指して引き続き経営改革に取り組み、財政の健全性を確保していく所存でございます。

特別会計につきましては、事業の円滑な運営が行えるよう、それぞれ所要の経費を措置いたしました。

続きまして、一部事務組合事業につきましてご説明申し上げます。

まず、高崎市等広域市町村圏振興整備組合でございますが、常備消防につきましては、消防・救急業務の充実を図るため、老朽化した安中消防署の建て替え工事を実施いたします。

また、はしご付消防ポンプ自動車などの車両の更新や救急救命士の養成を引き続き実施いたします。

高崎工業団地造成組合におきましては、需要を的確に捉えた事業推進を目指すと共に、団地販売促進に積極的に取り組んでまいります。

[結 び]

以上、市政運営についての所信の一端と予算の概要についてご説明申し上げました。

高崎市は、名実ともに群馬県のトップを走る都市でございます。今後とも、市民一人ひとりのたくましさや個性の輝きを原動力として、この予算を「交流と創造～輝く高崎」の実現につなげてまいりたいと考えております。

なお、予算の細部につきましては、財務部長から、その他の議案につきましては担当部長からそれぞれ説明させますので、よろしくご審議のうえご賛同賜りますようお願い申し上げます。提案説明とさせていただきます。